

建築研究所 創立70周年 記念講演会

入場料
無

事前
申込制

開催日時

平成28年 **10月28日(金)**

15時00分～17時00分 (14時00分受付開始)

記念講演



建築構造設計と説明責任

－安全・安心な社会に向けて－

東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻
塩原 等 教授



住宅・建設産業におけるイノベーション

－建築ストック活用と社会変化がもたらすもの－

芝浦工業大学 工学部 建築学科
南 一誠 教授

開催場所

東京大学伊藤国際学術研究センター

(〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1)

※ 専用の駐車場はありませんので、
御来場される場合は公共交通機関を御利用ください。



国立研究開発法人 建築研究所

事前申込 → <http://www.kenken.go.jp/>



記念講演① (15時15分～16時00分)



建築構造設計と説明責任

－安全・安心な社会に向けて－

東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻
塩原 等 教授

講演の概要

構造設計基準は、構造設計者の自由を縛るものとする設計者が多いですが、構造設計者が自らの説明責任を果たすための助けとなるものです。こういう発想から、プロフェッショナルとしての責任を果たすため構造設計者が積極的に基準作りに参加する米国の建築物の構造設計基準の現況について我が国と比較しながら述べ、我が国の建築の耐震安全・安心の将来を考えます。

講師の略歴

富山県生まれ。東京大学大学院建築学専門課程博士課程修了後、建設省建築研究所、住宅局建築指導課勤務を経て、1995年より東京大学大学院建築学専攻准教授、2012年より同教授。2013～2014年、建築学専攻専攻長。

主な著書

- ・鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準(案)・同解説(2016)、2016年4月、分担執筆
- ・既存鉄筋コンクリート造煙突の耐震診断指針・同解説、2014年10月、分担執筆
- ・既存壁式(プレキャスト)鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針、2003年5月、分担執筆
- ・現場打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造設計指針(案)・同解説(2002)、2002年10月、分担執筆
- ・非構造部材の耐震設計指針・同解説(2002)、2003年1月、分担執筆
- ・Design of Modern Highrise Reinforced Concrete Structures. Imperial College Press, London, pp. 442、分担執筆
- ・鉄筋コンクリート構造の設計 学びやすい構造設計、日本建築学会関東支部、2001年1月、分担執筆
- ・多次元入力地震動と構造物の応答、1998年1月、分担執筆

受賞歴

- 2016年 日本コンクリート工学会功労賞
- 2011年 日本建築学会賞(論文)
- 2011年 ACI(アメリカコンクリート工学会)フェロー
- 2010年 日本地震工学会功労賞
- 2002年 ASCE(アメリカ土木工学会) J. James Croesメダル
- 1987年 日本コンクリート工学協会論文賞

社会活動

- ・建築研究所 熊本地震建築物被害調査検討委員会委員長(2016年6月～)
- ・日本建築学会 構造委員会 幹事(2011年4月～)
- ・日本建築学会 構造委員会 鉄筋コンクリート構造運営委員会 幹事(2009年4月～2013年3月)、主査(2013年4月～)
- ・日本建築学会 災害委員会 幹事(2011年4月～2013年3月)
- ・日本建築学会 関東支部 地震災害調査連絡会 副代表(2001年4月～2013年3月)
- ・日本建築センター RC構造評定委員会 副委員長
- ・ベターリビング 耐震診断評定委員会 委員長
- ・ACI Committee 374, member
- ・防災科学技術研究所 Eーディフェンス利用委員会委員長(2016年4月～)

記念講演② (16時10分～16時55分)



住宅・建設産業におけるイノベーション ー建築ストック活用と社会変化がもたらすものー

芝浦工業大学 工学部 建築学科
南 一誠 教授

講演の概要

超スマート社会における住宅・建設産業について、①生活者のニーズに立脚した新たな市場の創造、②サプライチェーン全体の再構築、産業全体としての生産性向上、③ソーシャル・イノベーションを生み出す社会システム改革、④巨大災害、気候変動、環境・エネルギー、人口問題等への対応と新たな社会的価値の創造、⑤社会システム改革と研究開発の一体的推進などについてお話しします。

講師の略歴

石川県生まれ。郵政省大臣官房建築部、建設省大臣官房官庁営繕部勤務を経て、2005年より芝浦工業大学工学部建築学科教授。2008～2015年、学長補佐。2014～2016年、大学院建設工学専攻主任。日本学術会議連携会員。

主な著書

- ・時と共に変化する建築 使い続ける技術と文化、2014年
- ・集合住宅のインフィル改修、集合住宅のインフィル再生技術～インテリアの新技术～、共著、2014年
- ・公共施設の再編 計画と実践の手引き、共著、日本建築学会、2015年2月
- ・日本建築学会叢書「市民と専門家が協働する成熟社会の建築・まちづくり」、共著、2014年
- ・マンションストック再生技術、共著、2013年
- ・日本建築学会叢書1 都市建築の発展と制御シリーズ I「都市建築のビジョン」、共著、2006年
- ・オープンビルディングと都市デザイン、2004年
- ・コンバージョンが都市を再生する、地域を変えるー海外での実績と日本での可能性、共著、2004年
- ・コンバージョンによる都市再生、共著、2002年
- ・団地再生のすすめーエコ団地をつくるオープンビルディング、共著、2002年
- ・サステナブル社会の建築:オープンビルディング、共著・共訳、1987年

受賞歴

- ・都市住宅学会賞 著作賞
- ・マサチューセッツ工科大学 タッカー・ヴォス賞
- ・北米照明学会賞優秀賞
- ・千葉県建築文化賞、千葉市優秀建築賞
- ・青森市文化芸術活動表彰文化ゾーン空間賞
- ・日本建築学会「未来を拓く研究と技術開発」論文入賞
- ・日本建築学会「都市建築の発展と制御」論文優秀賞

社会活動

(1) 学術団体等 委員

- ・日本学術会議 連携会員 第3部土木工学・建築学委員会
- ・日本建築学会 総務理事(2008年6月～2010年5月)
- ・日本建築学会 建築計画委員会 オープンビルディング小委員会 主査(2004年4月～2008年3月、2012年4月～2013年3月)
- ・日本建築学会 都市・建築にかかわる社会システムの戦略検討特別調査委員会 委員長(2010年4月～2013年3月)
- ・日本建築学会 建築計画委員会 公共施設マネジメン小委員会 主査(2010年4月～2012年3月)
- ・日本建築学会 技術報告集委員会 委員長(2006～2007年)
- ・日本建築学会 都市建築の発展と制御に関する特別調査委員会 委員、幹事(2004年4月～2005年5月)
- ・都市住宅学会 編集委員会 委員(2014年8月～)
- ・CIB W104 (Open Building Implementation) Joint Coordinator 主査(2003年10月～2011年5月)

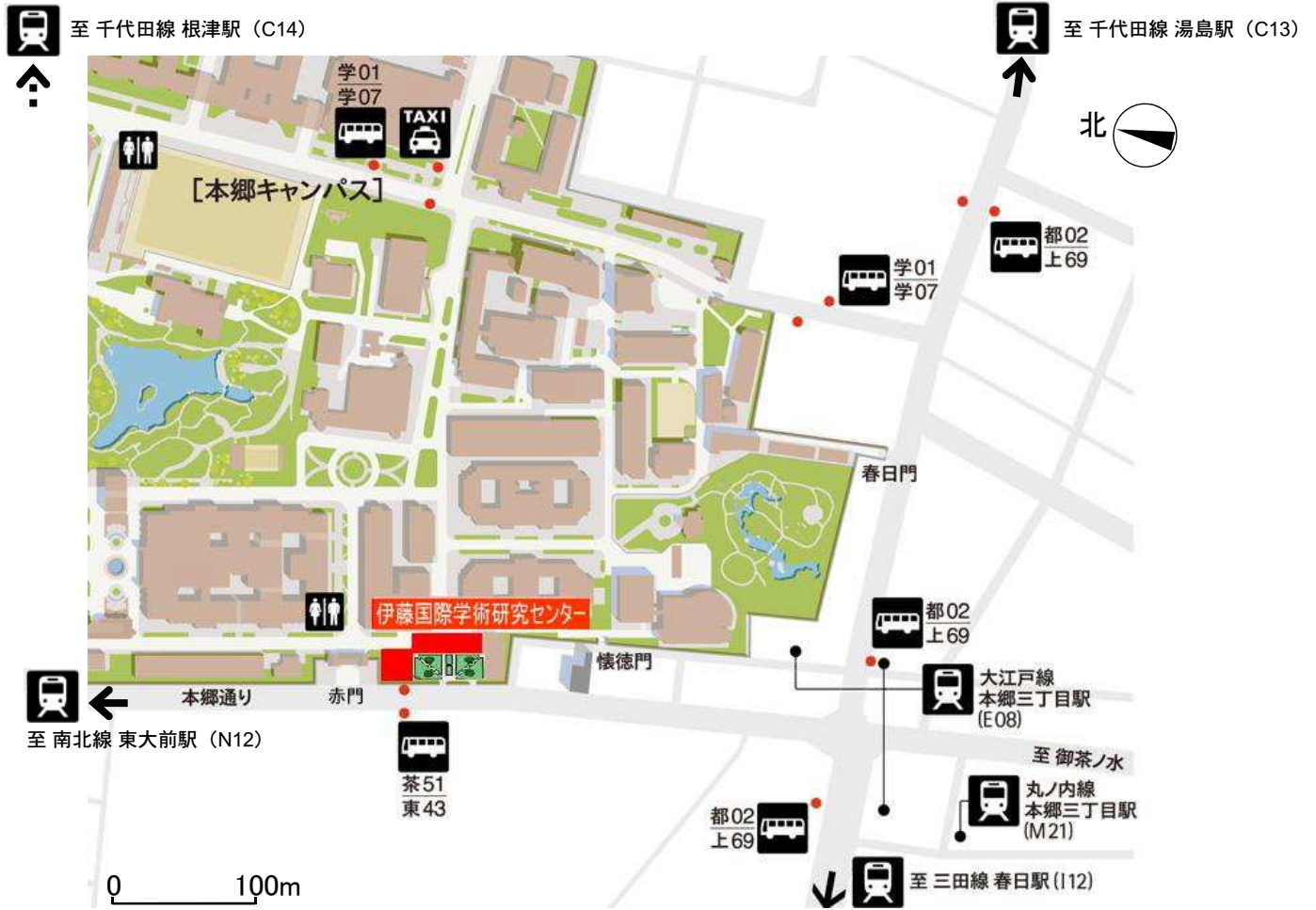
(2) 国、公共団体等の委員

- ・国土交通省 社会資本整備審議会 建築分科会 専門委員(2008年9月～)、臨時委員(2012年～)
- ・国土交通省 社会資本整備審議会・交通政策審議会 技術分科会 技術部会 社会資本メンテナンス戦略小委員会 委員(2012年8月～2014年3月)
- ・国土交通省 持続可能社会における既存共同住宅ストックの再生に向けた勉強会 委員(2012年2月～2012年12月)
- ・建築研究所 研究評価委員会 委員、建築生産分科会 主査(2015年10月～)
- ・日本建築センター 住宅製造者認証審査委員会 認定委員(2011年4月～)
- ・建築技術教育普及センター インテリアプランナー更新講習委員会 委員(2007年～)、委員長(2013年度～)
- ・ロングライフビル推進協会 建築物ライフサイクルマネジメント指針等作成委員会 副委員長(2014年7月)
- ・公共建築協会 公共建築工事事品質確保技術者認定委員会 委員長(2012年4月～2014年3月)

会場までのアクセス

※ 専用の駐車場はありませんので、御来場されるときは公共交通機関を御利用ください。

東京大学伊藤国際学術研究センター（〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1）



最寄駅	所要時間(目安)
本郷三丁目駅(都営地下鉄大江戸線)	徒歩6分
本郷三丁目駅(東京メトロ丸の内線)	徒歩8分
東大前駅(東京メトロ南北線)	徒歩11分
春日駅(都営地下鉄三田線)	徒歩13分
湯島駅又は根津駅(東京メトロ千代田線)	徒歩17分

御茶ノ水駅	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) → 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) → 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶51駒込駅南口又は東43荒川土手操車所前行 → 東大(赤門前バス停)下車
	学バス利用	学07東大構内行 → 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅	都バス利用	都02大塚駅前又は上69小滝橋車庫前行 → 本郷三丁目駅下車
上野駅	学バス利用	学01東大構内行 → 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車